公表

事業所における自己評価結果

事業所名 アビリティキッズおおもり（放課後等デイサービス）

公表日 令和 7 年 4 月 16 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	広く使いたい時には子どもの座席を移動させている クールダウンできる個室があるとよい	運動系の活動の際は近隣の公園等を視野に入れながらプログラムを検討していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	援助が特に必要な子どもに対して1対1で対応できるように声掛けしている 個別に支援が必要な子にも対応している	資格保有者を増員できるように採用を強化していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	ロッカーや座席にも名札をつけている ロッカーは低学年には下をしようするようにしている なるべく視覚からとらえられるようにしている	活動の時間や活動内容等、その日の予定やスケジュールをホワイトボードに掲示してあります。視覚的な支援ができるよう心がけています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	プログラムの中で掃除を取り入れ、子どもたちにも適切な空間になるよう理解を促している	帰る前にお子様たちで掃除をする活動を取り入れています。自分たちの場所をきれいにしようという心がけています。皆様が帰られた後、スタッフでも清掃しております
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	クールダウン用の個室を用意しているが来客時に使用してしまっていることもある やりたいことをやりたい場所で行っている	クールダウンするときに相談室を使用しております。クールダウンしなくてもいい環境を整えていく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	目標を持って支援に当たっている	モニタリングや支援者会議の他に毎日パート職員も交えて申し送りして情報共有しております
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	今後必要となることは話し合っている モニタリングの際に保護者の意向を聞いている	今後も情報共有を続けていきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	全体での意見交流が少ないため改善を目指している 毎月会議を行っている	今後も情報共有を続けていきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	改善に努めていく 異なった職種の方の意見を聞いている	情報収集し今後の実施に向けて検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修などの機会がある場合には参加している 毎月会議を通じて研修などを行っている	強度行動障害等の社外研修にも積極的に参加できるようにしております
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	その都度確認している それぞれの子どもにあった支援プログラムが組まれている	ホームページ等にプログラム掲載してある
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	課題について話し合い検討している ニーズや課題を全員で話し合っている	もう少し細かな変化をキャッチし、反映していきたい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	検討する機会が少ないため頻度を増やしていく 今のこどもの状態を全員で確認し合っていること	課題を日々確認しながら支援に反映できるようにしている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	作成時に確認している それぞれの子どもに対する支援プログラムを共有している	問題なくできている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	確認できている	標準化されたツールの使用はなく、各スタッフの裁量によるところが大きい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		個別支援計画書にしっかりと記載されている

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	適切に行えている	個別の課題から全体の課題へと昇華させ、支援プログラムを検討している。参加できない等の別れてしまった時の課題は少し残る
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	固定化してしまっている 体育・家庭科・図工等教科別に分けることで 多様化している	ジャンル分けをした上で、細かな内容を子 類化して大枠から外れないようにしながら、 細かな内容で変化させている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	いろいろな活動・レクを用意している	状況に応じて組み合わせを調整できている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	ミーティングを行うが話が進まないことがある	ミーティングを継続していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	振り返りはその日のうちに行っている	支援の振り返りとともに日報にも記入し、休 みのスタッフも後日共有できるようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	その日のことを日報に記入している 個別支援の日報を記録している	ミーティング内容を元に活動内容へ盛り込 み、スモールステップを意識している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	適切に行えている	半年に一回の見直しを中心としているが、変 化に応じて細かくできるように改善してい きたい
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	適切に行えている	地域交流ができていないが、概ね行っている
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	気持ちを伝えられるよう声掛けを行っている 考えて自分の意見を言葉で他者に伝えられる ようにしている	自発的な意見を出せるような支援を心掛けて いる
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		できている。誰でも参加できる状況を作れて いない為、全員が同じ発言ができるようにし ていきたい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		関係機関との体制は整えているものの、密な 機関とそうでない機関と別れているのが現状 である。改善できるように検討していく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		緊急性の高い内容については共有することが あるものの、定期的な情報共有は送迎時のそ の日の状況等に限られる。一人ひとり支援者 会議の時間を作るように検討している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		その時に通っている学校とのやり取りが多 く、就学前に利用していた教育機関との関係 は卒業と同時になくなってしまっている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		その状況になった場合は情報共有できる ような体制を整えてある
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	児童発達支援センターと連携を取れているの かが分からない	機会を設けていなかった。 地域連携とあわせて検討していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	ききょうだいら（別事業所）との交流がある 地域のお祭り行事などに積極的に参加してい る	情報収集し今後の連携に向け検討してい く
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	参加できているか分からない	管理者・児発管は参加している。 職員も研修等あれば参加を促してる
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	保護者との情報共有はあるが課題について共 通理解しているかは分からない 送迎の際に利用者の様子を伝えたり、問題点 があれば改善できるようにしている	連絡帳や個別支援計画等定期的な報告はして いるが、授業参観のような直接見える環境を 設けていきたい
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	チラシを予定表に入れることがある 各家庭の状況により難しい点がある	数か月に一回といった短い期間でのペアテ ル開催を目指していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		今後も継続した対応を心掛けていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	その都度必要に応じて保護者と情報の共有を 行っている モニタリングの際に行っている	今後も継続した対応を心掛けていく

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		今後も継続した対応を心掛けていく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	必要に応じて行っている 家族の働き方の状況などにより難しい場合もある	気軽に連絡を取り合えるような関係値を築いていけるように尽力していく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	以前親子交流会を行った 年に1～2回交流会を設けている	今後兄弟姉妹の交流が出来る場もできる よう検討している
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	迅速に対応している 関係者からも情報を得て改善策を考えている	苦情記録等をしっかりと残し共有している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	SNSによる情報の発信ができていない 積極的に活動状況をSNSなどで発信できていること	今後も継続した対応を心掛けていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	子どもとの話の中でも特定の子どものお話をしないようにしている	研修を合わせて留意継続していく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	子どもひとりひとりに対しての伝え方を変えている LINEなど状況を交換しやすい形も取っている	システム導入による連絡帳のアプリ化等で情報の伝達に配慮している
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	地域との交流が減少しているように感じる 今後連絡協議会主催のバザーなどにも参加していきたい	情報収集し今後の連携に向け検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	必要に応じて事例検討などを行っている 毎月の会議時に随時取り入れている	家族への周知はできていなかった。 周知するように共有していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	毎月避難訓練を行っている	毎月一回災害に備えた訓練を行っている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	情報共有している	より細かく確認できるようにアセスメントの書式等を変更して対応していく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	食事やおやつ時間帯は注意している	保護者からのアレルギーの有無の確認と共に、細かく食べられないものを確認、提供しないように徹底している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		環境整備をしっかりとおこなっている
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		今後に向けて周知を徹底していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	その日に起きたことはその日のうちに話し合いを行っている 記録として残している	ヒヤリハットの作成及び共有、ミーティング時の報告を徹底している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	会議の際に随時全員で周知している	運営委員会の設置と研修により適切化している
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	契約時に身体拘束に関する同意書を得ている	運営委員会の設置と研修により共有している。 必要な場合は記載するようにしている	